

横浜市立幸ヶ谷小学校 学校だより

6月号

KOU KOU Newsletter

学校教育目標:「自分 友だち 社会の幸せをつくる子ども」

令和6年5月31日発行
横浜市立幸ヶ谷小学校
TEL (441)3170
FAX (441)9896



校庭の芝が

いつでも見られるようになっているのは？

副校長 神山 聡

ブルー棟とグリーン棟の前に広がる緑の芝。休み時間になると子どもたちが一斉に飛び出してきて遊びに興じています。ジャングルジムに直行する子・鉄棒に直行する子・芝生の上で追いかけっこをしたり、寝っ転がっていたり、さまざまな子どもたちの様子を見ることができます。

さて令和5年初春に L 字型の芝を増量し現在の長方形の形に広がりを見せた本校の芝生ですが、あの芝がいつでも見られているのは当たり前だと思っている人はいませんか？

その答えは・・・

幸ヶ谷共育倶楽部の皆様の定期的なメンテナンスがあり、そして環境委員会の子どもの毎朝の水やり活動があって、あの青々しい芝生が毎年いつでも見ることができているのです。先日の5月18日の土曜日にはメンテナンスの一環として芝の赤ちゃんを育てる作業を行いました。

「芝っ子」と呼ばれる状態の芝を専用の砂と混ぜながら、一つ一つカップにいれていきます。今回は全部で 1,000 株以上出来上がりました。2か月ぐらいたちますと、それぞれのカップごとに芝っ子から育った芝が細い枝を伸ばし始めて育っていきます。



カップごとに育った芝の赤ちゃん。7月の中旬ぐらいにカップからだし、芝生校庭の芝が薄くなってしまった所や、地面が見えてしまっているところに集中的に植えなおしていきます。

今回の植えなおしの部分はブルー棟昇降口前の新たに敷いたところが大部分になります。やはり人の出入りが多いところの芝生の消耗がはげしく傷んでしまう部分が多いのでしょうか。でも、共育倶楽部の皆さんは「いいんです、いいんです、芝生をたくさん踏んで、その感触を足の裏で感じ取ってほしいんですよ、それが大事だと思うんです。それでなくなってしまったって、なくなったところにはまた植えればよいのですから！」とニコニコ笑顔で返してくださいませ。

私たちの幸ヶ谷小の環境はこのような考え方をしてくださっている多くの人々の温かい考え方・行動力によって支えられているのだと改めて考えさせられます。本当にありがたい気持ちでいっぱいになります。

私たちが幸ヶ谷小の環境はこのような考え方をしてくださっている多くの人々の温かい考え方・行動力によって支えられているのだと改めて考えさせられます。本当にありがたい気持ちでいっぱいになります。

これからでてくる夏芝の上で思いっきり楽しんでください。

